



毎年恒例の合宿♪ 5/12~13 高砂市青年の家

合唱団の皆さん、合宿お疲れさまでした。
富田先生、河野先生、2日間ありがとうございました♪
植松さん、高石さん、お菓子の差し入れありがとうございました！
…夜の部のアルコール差し入れもありがと～(^o^)

成果が感じられた合宿でした！



年1回の合宿でしたが、レベルアップの手応えを感じました。
“メンバーの全てが頭声発声をマスターして欲しい”と取り組んでいます、少しずつ出来る人が増えてきているように感じます。特にアルトのパートにもそれを感じました。
一方、歌う気持ちが乗ってくると、つい、自分の世界に入ってしまう、周りとの調和が疎かになる気がかりな点も感じられました。

次に取り組む新曲の2曲（「翼を下さい」・「いつも何度でも」）は、ユニゾンが目立ちます。これらの曲は、うまく訓練すれば同一パート内およびパート間での声のバラツキ（さまざまな人の声が聞こえる）を改善するのに効果が有ると、期待しています。



みんなで参考に聴いた東京混声合唱団のCD、ユニゾンが何とも美しい！“ほんとに一人（ときには二人の男女）が歌っているみたいです。あのようにユニゾンを揃えられたらなあ！”
声質が揃っている点が第一ですが、ノンヴィブラートによって表現される音楽は高貴な美しさが有ります。さすがはプロですね！（ソロと合唱の歌い分けができるのですね！）



脳トレ?!勉強中～。
頭も使いました♪

コーラスに適した美しいヴィブラート（オーケストラの中での弦パートが奏でるような）は高度な技術であって、難しいものと、多くの合唱指導書で述べられています。（近年発行されたメソッドでは、“合唱でのヴィブラートは百害あって一利なし”とまで）。すなわち多くの場合、ヴィブラートが目立って、パート内で競っているようで、ときには周囲のメンバーに不快感をあたえてしまいます。
この結果が“パート内でのたくさんの声”にもつながります。



パートで柱になる人は、癖のない真っ直ぐな歌い方であることが求められます。そのような柱が2本、3本となり、そこに他のメンバーが寄り添うようになれば、素晴らしい合唱団になるだろうなあ！
と夢見ています。
（演奏教育部代表：キッシー）



皆さん合宿お疲れ様でした♪
各パートの音程を取るのに真剣にされてる様子、とても素敵で、皆さんほんとうに合唱が好きなんだ！と感動しました。色々学ばせていただいた2日間でした！
皆さんありがとうございました m()m (さえ chan)

今年も楽しく参加させて頂きました。合宿ならではの練習ができ、新曲も頂き、コンサートに向けての良いきっかけになりました。お世話くださった皆様、ありがとうございました。(M.Y)

今回は土曜日みの参加で宿泊できなくて残念でした。でも、ひさしぶりに、歌えてよかったです。日頃、やんちゃな子供達と過ごしているの、歌うひとときは自分を取りもどせる感じがしますね。(H.T)

歌いまくった合宿。こんなに練習したんだから結果がついてくればいいのに～。
そんなに甘くないか…。もっともっと練習だね。(Y.I)

1日目しか参加できず、2日目の分を何とか追いつかないといけません。ハナミズキのリズムと歌詞を正確にとらえる難しさを感じています。

テレビでも最近の歌についていけず、聴くといいなと思うのに、歌うとうまくいかないのです。この機会に、固い頭を若返らせ、頑張ります。頭の体操のチャンスとして。(名無しさん)



喉の具合が悪く声が出なかったのは辛かったですが、もぐもぐタイムはしっかり参加しました。用意していただき、ありがとうございました。デスクワークもあり脳の活性化に良かったです。丁寧なご指導ありがとうございました。

昨年から泊まっていますが、ゆっくり話が伺えたり、美味しい🍷もいただけるので楽しいです。その場で声出しすぎました。反省(/--) / 曲は頭にほとんど残っていないのですが録音器にあるので、聴いて復習します。

いろいろお世話していただき、有意義な合宿ができました。ありがとうございました。☺❤
(S.N)

今年も、みんなと楽しく参加できて、いっぱい歌えて幸せな二日間でした。ただ、合唱団員の高齢化と競うかのように？青年の家も老朽化が目立ち、「故障・調整中」が目立ったのが寂しかったですね。青年の家の愛おしきその明日は、危ぶまれている…そんな予感も。



来年もまたみんなと、さぎ波が寄せ返す向島に集って、合宿が出来ますように。(T.S)

